

別表1

育成医療・更生医療を行うために必要な設備及び体制一覧

医療機関の種類	設 備 及 び 体 制		
	共 通	特に必要とされるもの	
眼科に関する医療を担当する医療機関	<p>・指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）療養担当規程に基づき、懇切丁寧な自立支援医療が行える医療機関であり、かつ、病院及び診療所にあつては、原則として<u>現に育成医療・更生医療の対象となる身体障害者の治療を行っていること。</u></p> <p>・各種医療・福祉制度の紹介や説明、カウンセリングの実施等が行えるスタッフについて体制が整備されていること。</p> <p>・自立支援医療を行うため、担当しようとする医療の種類について、その診断及び治療を行うにあたって、十分な医療スタッフ等の体制及び医療機器等の設備を有しており、適切な標榜科が示されていること。</p>		
耳鼻咽喉科に関する医療を担当する医療機関			
口腔に関する医療を担当する医療機関			
整形外科に関する医療を担当する医療機関			
形成外科に関する医療を担当する医療機関			
中枢神経に関する医療を担当する医療機関			
脳神経外科に関する医療を担当する医療機関			
心臓血管外科に関する医療を担当する医療機関			心血管連続撮影装置及び心臓カテーテルの設備を有していること。
心臓移植に関する医療を担当する医療機関			移植関係学会合同委員会において、心臓移植実施施設として選定された施設であること。 心臓移植術後の抗免疫療法を担当する医療機関にあつては、心臓移植術実施施設又は心臓移植後の抗免疫療法の実績を有する施設との連携により心臓移植術後の抗免疫療法を実施できる体制及び設備を有している施設であること。
腎臓に関する医療を担当する医療機関			血液浄化療法に関する機器並びに専用のスペースを有していること。
腎移植に関する医療を担当する医療機関			腎移植に必要な関連機器と血液浄化装置（機器）を備えていること。
小腸に関する医療を担当する医療機関			
肝臓移植に関する医療			移植関係学会合同委員会において、肝臓移植実施施設として選定された施設であること又は「特掲診療料の施設基準等」（平成20年厚生労働省告示第63号）で定める生体部分肝移植術に関する施設基準を満たしている施設であること。 肝臓移植術後の抗免疫療法を担当する医療機関にあつては、肝臓移植術実施施設又は肝臓移植後の抗免疫療法の実績を有する施設との連携により肝臓移植術後の抗免疫療法を実施できる体制及び設備を有している施設であること。
免疫に関する医療を担当する医療機関		各診療科医師の連携により総合的なHIV感染に関する診療の実施ができる体制及び設備であること。	
歯科矯正に関する医療を担当する医療機関			

<p>薬局</p>	<p>複数の医療機関からの処方せん受け付けている保険薬局であり、かつ、十分な調剤実務経験のある管理薬剤師を有していること。また、通路、待合室など、身体障害者に配慮した設備構造等が確保されていること。</p> <p>新規開局する保険薬局にあつては、当該薬局における管理者（管理薬剤師）が過去に他の指定自立支援医療機関において、管理者（管理薬剤師）としての経験を有している実績があり、かつ、当該薬局に十分な調剤実務経験のある薬剤師を有していること。</p>
<p>訪問看護ステーション若しくは老人訪問看護ステーション又は居宅サービス事業所</p>	<p>原則として現に更生医療の対象となる訪問看護等を行っており、かつ、更生医療機関医療担当規程により、適切な訪問看護等が行える事業所であること。そのために、必要な職員を配置していること。</p>